

ながの果物語り 新商品開発支援事業

高校生&菓子店コラボレーション「りんご Sweets プロジェクト」

1 目的・ねらい

若年層の果物消費量は減少傾向にあり、長野県「県民健康・栄養調査」によると摂取量の目安である 200g/日に対し、10～30 代は 30%程度の摂取と報告されています。一方、果物は手軽で満腹感が高い菓子などに加工しやすい特徴があり、スイーツという形であれば摂取機会の増加が期待されます。

そこで、若年層が手に取りたくなるような、果物をふんだんに使ったスイーツを若者目線で開発・販売することにより、若年層への果物消費と販路拡大を図るため、本事業を実施するものです。

2 事業内容

長野商業高校の学生（6 チーム）が「こんなにりんごスイーツなら食べたい！」という商品を考案し、地域の菓子店と連携して新商品を開発、販売します。

長野地域振興局長野農業農村支援センターでは、学生と菓子店の連携や果物農家での研修、材料提供などについて支援しています。

(1) 新商品の開発及び試作・試験販売

① 学生向け事業説明会（令和3年6月9日）

- ・長野商業高校3年生の商品開発授業で事業内容について説明



② 学生と菓子店のマッチング（7月～8月）

- ・学生6チーム（24名）と菓子店6店舗のマッチングを行い、チームごとに打合せ



③ 学生による農家訪問研修（8月6日、7日）

- ・令和元年東日本台風で被災した農家を訪問し、当時の様子を伺うとともに、りんごの品種や栽培についての研修会を実施



④ 菓子店と打合せ・商品の試作（8月～9月）

- ・オンラインも活用しながら菓子店と協力して試作品を作成し、試食会を実施



- ⑤ プレ発表会（10月1日）
- ・長野商業高校で試作品をお披露目し、チームによる取組内容を発表



- ⑥ 長商デパートで試験販売（10月22日～24日）
- ・試作の6商品を販売（各30個販売/日）し、アンケートを実施



（2）商品の完成（11月～令和4年1月）及び成果発表会・プロモーション

- ・アンケート結果を参考にパッケージ等の調整も行い、完成品を製作
- ・県庁会見場にて関係者及びメディア向けに完成品の発表会を実施し、記念販売会を開催（令和4年1月12日）

（3）販売・スタンプラリー（令和4年1月13日～2月13日）

- ・各菓子店等において完成したスイーツを製造・販売、スタンプラリーを実施
- ・各菓子店は定番商品や季節限定商品としての販売継続を検討（スタンプラリー終了後）

3 協力菓子店と開発したスイーツ

商品名	店名(所在地)
① りんごのういろ 「よりそい」	旬彩菓たむら (長野市伊勢宮1丁目18-14)
② 「新食感!!ごろっとりんごのシュー」	パティスリー・オースガ (長野市鶴賀2228)
③ りんごチョコランチ 「ザクザクリんご」	パティスリー・カズーリー (長野市大字長野岩石町342)
④ 「青りんごのさわやかブッセ」	コモリ餅店 (須坂市須坂北横町1316)
⑤ りんごのカップケーキ 「ごりんごりんご」	TEMO.jp atelier shop (須坂市小山穀町497-4)
⑥ りんご大福 「ふくりん」	明月堂 (飯綱町牟礼2724)

①



②



③



④



⑤



⑥

